



出動命令メール

問 先般の稲取地区での火災において消防指令センターからのメールでの出動命令に対し、消防団各分団は対応できていたのか。



西塚孝男議員

▽メール出動になってからの消防団の対応

稲取で発生した火災の対応は 答 指揮命令体制の見直しを図る

町長 「第1出動」のメールに対しては対応できたと考えているが、「第2出動」を促すメールに対しては、出動がスムーズに行われなかった。それを踏まえ、現場で迅速に指令をメールするため、現場に持ち込んだタブレット端末からメールの発信ができるよう対応を図ったのでご理解をお願いしたい。

問 デジタル無線機を使つての消防署と分団との通信、及び分団同士の連絡はできたのか。

町長 デジタル消防無線を消防団が使用することはできないので、相互通信する場合は、消防団が使用しているデジタル防災行政無線を現場に来た消防隊が使用する方が考えられる。しかし、災害現場において2



町長 火災発生時の通報と同時に出動はしていないが、今回の火災現場での防火水槽等の使用状況を踏まえ検討していきたい。



稲取小学校へ下る道路に斜めに横断して設置されているグレーチング

▽町の道路整備と歩行者の安全対策

問 道路に敷いてある鉄板の形がいびつになったり、段差ができて危険な箇所がある。また稲取小学校から入谷方面へ上がる道路上に長いグレーチングがあるが、坂道であることに加え、雨で濡れると特に滑り

やすくなるので危険である。町長 雛のつるし飾りイベントの中心となっている場所なので、危険な箇所を改善して、歩行者の安全対策を講じていきたい。ご指摘の場所は通学路にあたり、グレーチング表面が滑る危険があることを確認をしている。今後滑り止めの対策をしていきたい。



飯田桂司議員

▽ふるさと納税の現状と今後

問 ふるさと納税の現状と今後の取り組みは。

町長 当町では平成27年度から記念品贈呈を開始し、28年4月からはインターネットでの申し込みや、クレジットカード決済を導入している。2月現在で4008名の方から3億5850万円の御寄付を頂いた。問 返礼品の選定はどのように行っているか。

ふるさと納税返礼品の選定基準は 答 地場産業の振興発展につなげたい

町長 26年度までは社会福祉基金や教育振興基金などに積立てをしていた。27年度からは町が行う事業の円滑な推進に向けて「東伊豆町ふるさと納税基金」を新たに新設し、そこに積み立てをすることになった。基金の活用については、今後寄付者の意向に配慮されるような施策を展開していく。



町長に聞きました (一般質問)

- 飯田 桂司 議員 -
▽ふるさと納税の取り組み

- 西塚 孝男 議員 -
▽火災における対応
▽町の道路整備は

- 栗原 京子 議員 -
▽胃がんリスク検診の導入
▽町営墓地の管理・納骨堂の設置

- 笠井 政明 議員 -
▽AEDの設置状況
▽子ども・子育て支援事業計画
▽東伊豆町への移住、企業誘致

- 藤井 廣明 議員 -
▽アスト会館について

- 内山 慎一 議員 -
▽伊豆東部総合病院
▽高齢者運転に対する事故防止策

- 稲葉 義仁 議員 -
▽学校教育環境整備について
▽産業振興に向けた取り組み

- 山田 直志 議員 -
▽町社会福祉協議会への補助金
▽中学校の部活動に対する支援
▽消火栓の維持管理と利用状況
▽キャンプカーへの対応